

## JR武蔵野線トンネル湧水の活用による流水再生に向けた用水路整備について

## 1 目的と経過

小平市の用水路は、「小平市用水路活用計画」に基づき、多くの用水路について保全する方針であるが、現在、市内東部地域において水量が不足していることに課題があり、流量の確保に努めており、平成27年度よりJR武蔵野線トンネル内湧水の活用について、JRや国分寺市と協議を重ね、平成30年5月にJRに対して「武蔵野線トンネル湧水の活用について」の要望書を提出し、JRから理解をいただいたところである。

令和元年度に武蔵野線トンネル湧水の活用について、小平市とJRが行う事業を明確化するために協定書を締結し、本年度（令和2年度）は、小平市については、放流に向けた護岸の整備、堆積土砂の撤去・浚渫を行い、JRについては、送水設備等の工事を実施している。

## 2 放流量について

この度の新堀用水へ放流する地下水の量は、1日最大で2,880m<sup>3</sup>を予定しており、放流量は、年度によっても変化し、一年を通して一定ではない。

また、放流する地下水の量は、JRのトンネル内で設置できる配管の大きさや、既に利用している国分寺市の姿見の池の余剰分を放流することによる制限を受けることから、これ以上の放流は厳しい状況である。

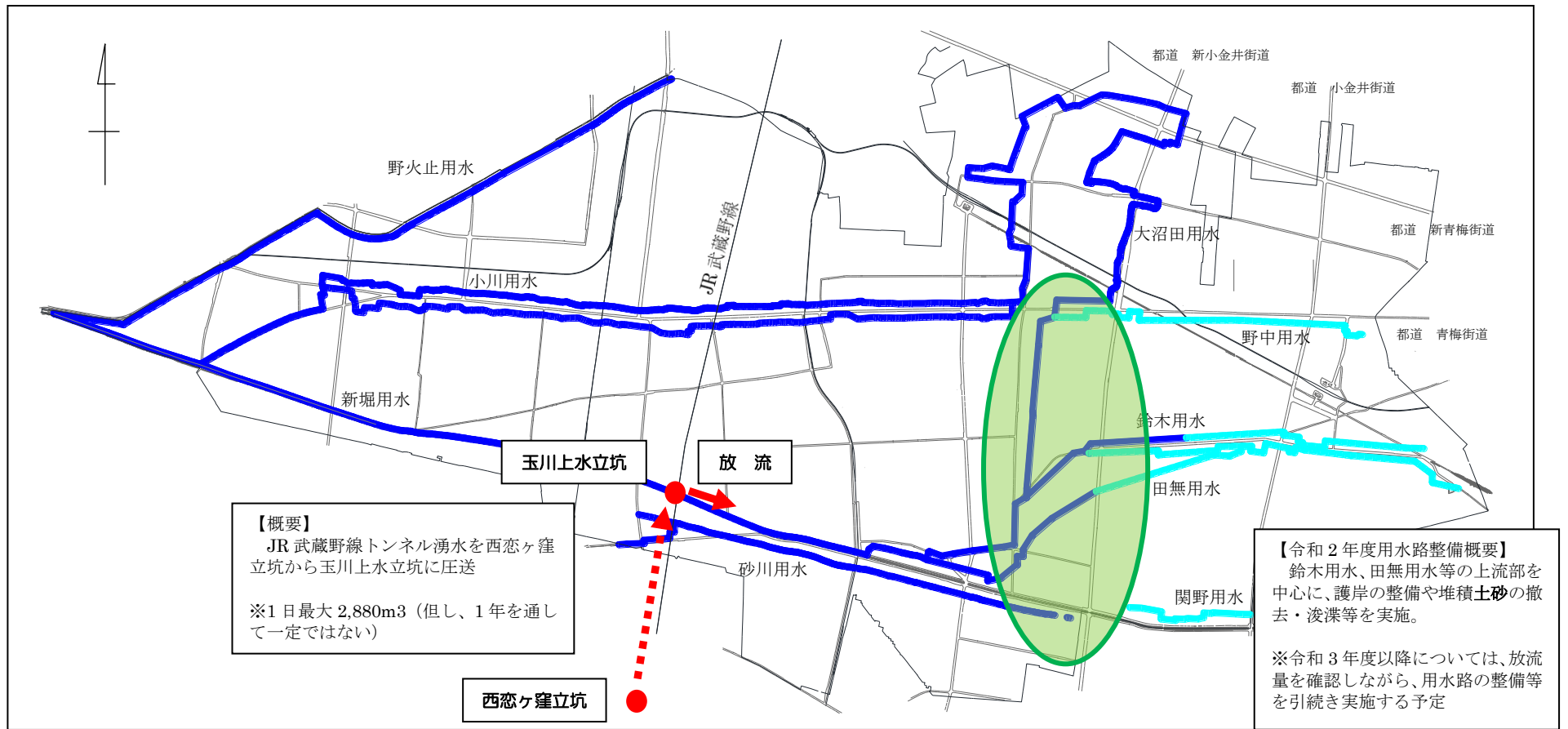
## 3 放流と整備概要図

裏面参照

## 4 今までの取組み、今後の予定

令和元年度	10月	【小平市・JR】協定書の締結
	1月	【JR】送水設備（流量調整設備）工事 着手
令和2年度	4月～3月	【小平市】用水路護岸整備、浚渫
	3月	【JR】送水設備（流量調整設備）工事 完了（予定）
		【小平市・JR】覚書（維持管理について）締結（予定）
令和3年度	4月	<u>新堀用水へ放流（予定）</u>
	4月～3月	【小平市】用水路護岸整備、浚渫（予定）

※令和4年度以降は、放流の状況を確認し護岸整備等を行う予定。



放流と整備概要図